### 🔃 ドーム型牛舎で次期肉用牛振興方策を

### A 地域肉用牛特別対策事業での取り組みを進めたい

農家が全体の63%を超え

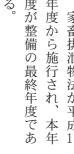
特に60歳、70歳代の飼育

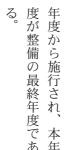
大きな課題を抱えており、

# 整備状況は次のとおり

況について問う。

度が整備の最終年度であ 家畜排泄物法が平成11 本年





ている。 基幹産業として、 町としても、 肉用牛は 最重点

後迫議員

後迫議員

思うが、 を立て、現在の情勢に対 施策として取り上げるべ 業での結果はどうであっ 応した取組みをすべきと 町独自の振興方策 畜産環境整備事

理である。

10頭以下の飼

困難なのは、

糞尿の処

に対して、ドーム型牛舎

町独自の少頭数飼育者

の支援も含めてその対策

肉用牛農家の作業で最

# 堆肥舎の整備状況

農家として取り組む若者 ならないと思うが、 これから対応しなければ は少頭数飼育農家が多く、

兼業

、の支援も含めて、その

該当しない。

本町の実態 補助事業は

育農家には、

はないか。

# ドーム型牛舎の整備状

後迫

### 哲矢議員

## 汚水処理施設5件

ドーム型牛舎の整備状 況

## 8件、 況である。 含む) 牛舎17件の整備状

後継者不足、

高齢化など

大崎町の肉用牛農家は

農協を窓口とした

対策事業で

## 平成15年度までの実績 堆肥舎の整備状況

施設2件、16年度(見込 みを含む)堆肥舎28件、 は堆肥舎43件、 汚水処理

## 平成15年度までの実績 16年度(見込みを

ている。 振興特別対策事業を実施 で対処していただきたい しているので、その事業 今のところ考えていない 農家数は284人となっ 本町の5~11頭の飼 県畜産協会が肉用牛 町独自の対策は

## 援の考えは ドーム型牛舎整備支

ての農家支援の考えは

後継者対策とし

### 農協を窓口としている地 現段階では県畜産協会で 今後考慮したいと思うが 計画で取り組む方々には、 5年間で10頭以上なる

対策は考えられないか。

## 増頭計画者には



▲パドック兼堆肥舎(ドーム型牛舎)

## 0) 域肉用牛特別対策事業で 取り組みを進めたい。